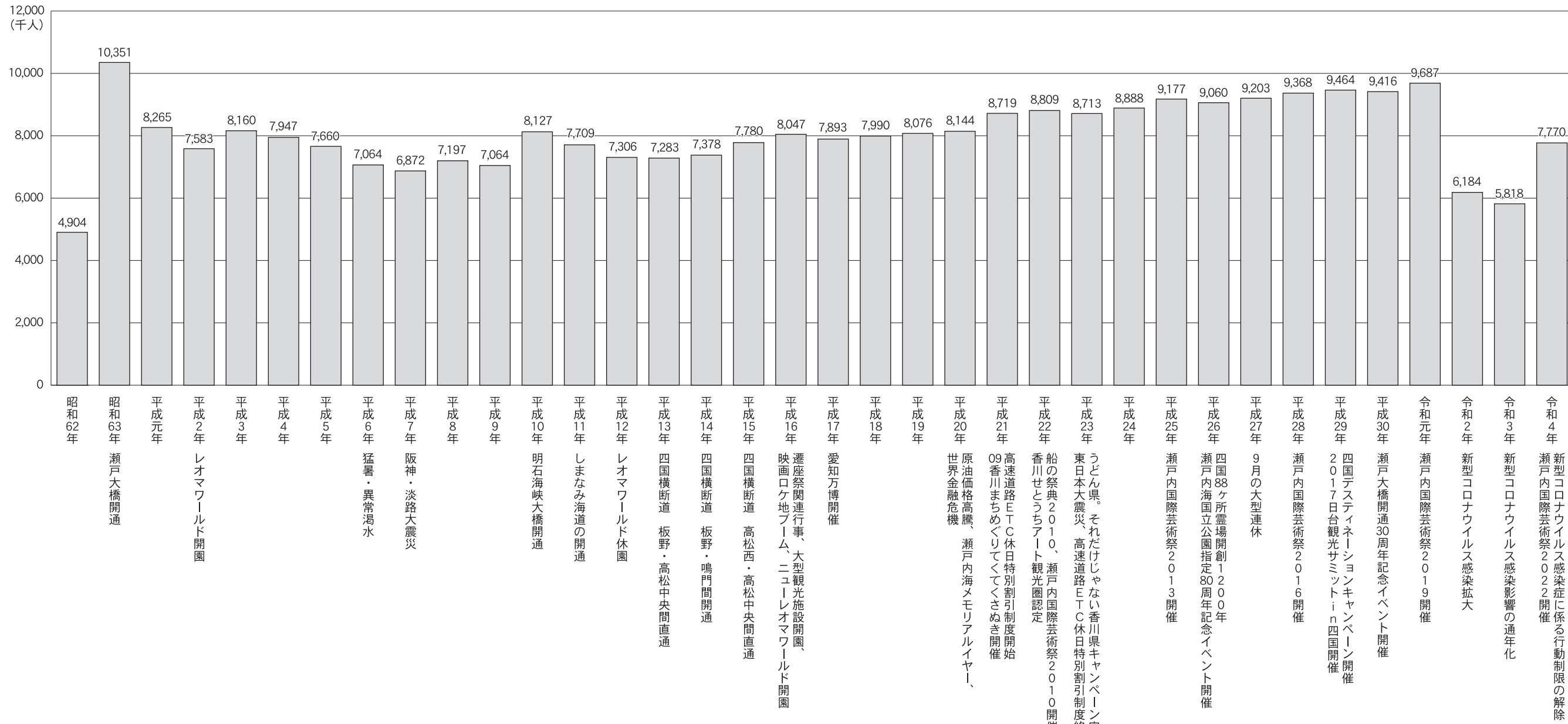


令和4年香川県観光客動態調査報告

県外観光客数は前年比33.6%増加

県外観光客入込数の推移



調査データ



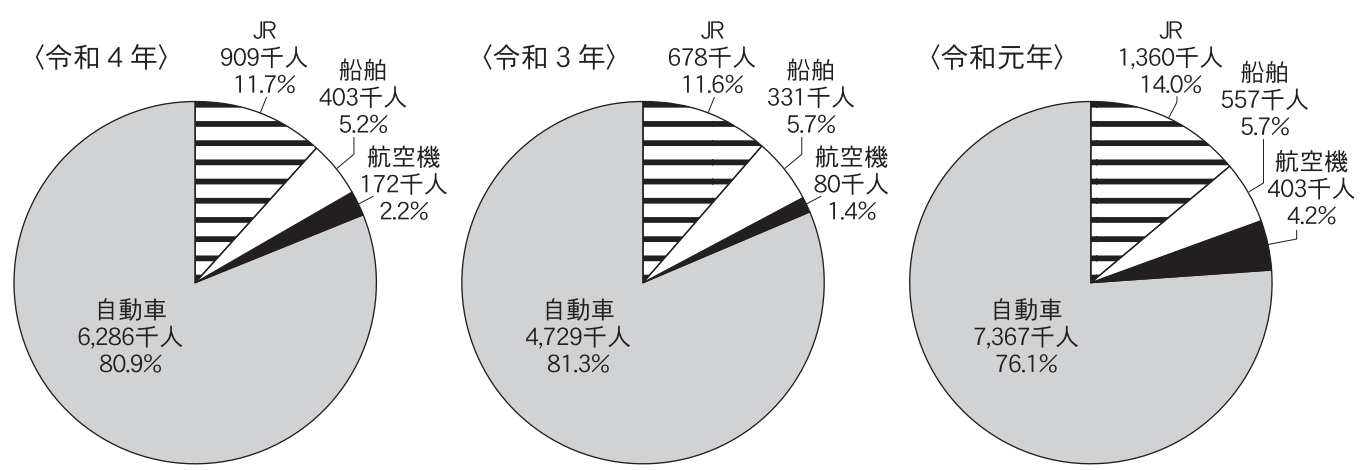
屋島から瀬戸内海を望む

行動制限解除や芸術祭開催で コロナ禍前比は19.8%減まで回復

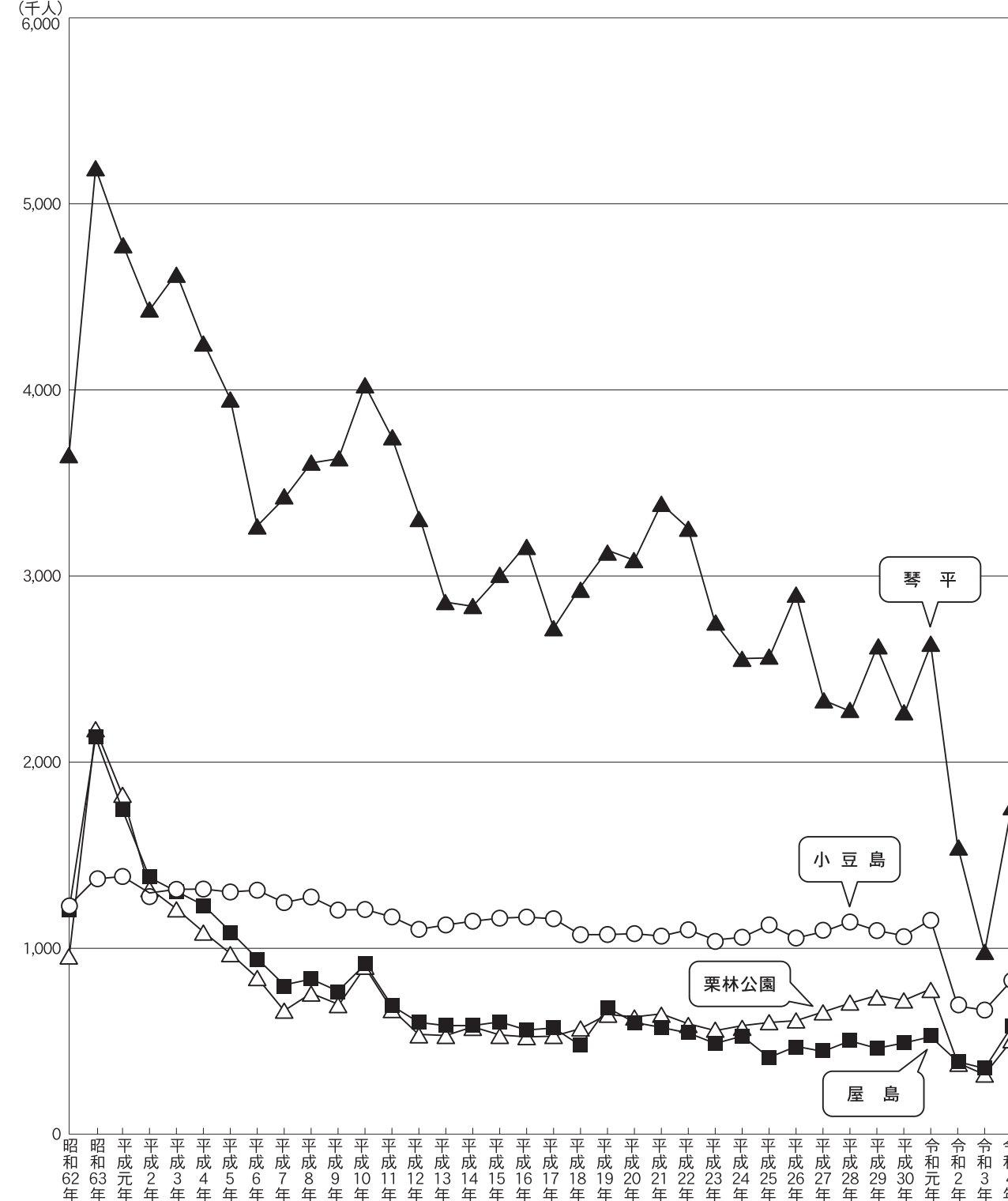
香川県がこのほど公表した令和4年観光客動態調査報告(速報版)によると、同年の県外の観光客入込数は777万人で、前年比33.6%増加した。増加の要因として報告書では「新型コロナウイルス感染症に係る行動制限のない状況が4月以降継続していたこと」「瀬戸内国際芸術祭」などを挙げている。

2022年が開催されたことなどが考えられるとしている。コロナ禍前の令和元年比は19.8%減まで回復した。入込数を交通機関別にみると、JR利用が90万人と、同34.1%増加。船舶利用が40万3千人と、同21.6%増加。航空機利用が17万2千人と、同116.8%増加。高速バス等を含む自動車利用が628万6千人と、同32.9%増加。主要観光地(栗林公園、屋島、琴平、小豆島)への入込数は総計367万8千人と、同58.2%増加した。このうち栗林公園が50万4千人と、同55.0%増加。屋島が58万1千人と、同64.0%増加。琴平が17万6千人と、同80.7%増加。小豆島が82万8千人と、同23.8%増加。4観光地全てが増加した。増加の理由として「新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の解除」ほか、栗林公園は「令和3年は開園期間が多かった」、屋島は「令和4年8月に高松市屋島山上交差点施設(せうしまる)がオープン」したことが要因とされている。

交通機関別県外観光客入込数



主要観光地入込客数の推移



交通機関		令和4年	令和3年	令和3年比(%)	令和元年	令和元年比(%)
JR	瀬戸大橋線	714	535	133.5%	1,064	67.1%
	四国内より	195	143	136.3%	296	65.8%
	小計	909	678	134.1%	1,360	66.8%
船舶	香川本土(直島を含む)へ	71	57	124.5%	92	76.8%
	小豆島へ	332	274	120.9%	465	71.5%
	小計	403	331	121.6%	557	72.3%
航空機		172	80	216.8%	403	42.8%
自動車	瀬戸中央自動車道	3,024	2,280	132.6%	3,466	87.2%
	神戸淡路鳴門自動車道	1,725	1,281	134.7%	2,067	83.4%
	西瀬戸自動車道	98	72	135.3%	115	85.3%
	四国3県より	1,439	1,096	131.3%	1,719	83.7%
	小計	6,286	4,729	132.9%	7,367	85.3%
合計		7,770	5,818	133.6%	9,687	80.2%

※令和3年比・令和元年比は千人単位ではなく、人単位で計算した数値